

# 下関工場

世界最大級のタイヤを生み出す  
建設・鉱山車両用タイヤ専門工場

操業開始 1970年6月（国内タイヤ工場として5番目に操業開始）

敷地面積 264,000m<sup>2</sup>

生産品目 建設・鉱山車両用大型・大型タイヤ



①事務所 ②バンパリー棟 ③第1工場 ④第2工場 ⑤第3工場  
⑥製品倉庫 ⑦体育文化センター ⑧物流センター

## 世界での需要拡大に対応

建設・鉱山車両用大型・超大型タイヤの専門工場である下関工場は1970年、国内で5番目のタイヤ工場として操業を開始しました。建設・鉱山車両用大型・超大型タイヤは、鉱物、エネルギーの需要が世界規模で増えていることなどを背景に、需要拡大が継続しており、下関工場では世界のお客様のニーズに応えられるよう努めています。

## 世界最大級のタイヤはここで生まれる

下関工場では、世界最大級となる外径約4m、幅約1.5m、重量約5.5tの世界最大級のタイヤも生産しています。これは露天掘り鉱山で活躍する400tダンプトラックに装着されるものです。こうした超大型建設・鉱山車両用タイヤの生産には高度な生産技術や、大型特殊設備を要するため、生産を行う工場は世界でも限られています。



露天掘り鉱山で活躍する  
超大型建設・鉱山車両用タイヤ



世界最大級のタイヤ  
(外径約4m)

## より信頼されるタイヤづくりを目指して

建設・鉱山車両用タイヤは、使用条件や路面状況などにより求められる性能が異なるため、その構造、ゴム質、サイズは多岐にわたります。下関工場ではお客様の要求に適ったタイヤ品質を保証できるよう、高度な品質保証活動を実施しています。例えば、タイヤ一本ごとに履歴カードを付け、各製造ステップで点検と確認を行ったり、外観検査と併せてX線検査も実施したりすることで、信頼されるタイヤづくりを目指しています。

## 港に隣接する立地

下関工場で生産されるタイヤは非常に大型であるため、トラックなどによる陸上輸送が困難です。また、ここで生産されたタイヤのほとんどは海外（アメリカ、オーストラリア、ロシア、中南米、アフリカなど）に輸出されています。そのため、下関工場は港に隣接する立地となっており、製品の大半は工場から直接船積みされ、輸出されています。



工場に隣接する港から輸出

## 環境に配慮した工場を目指して

ブリヂストンは、国内の多くのタイヤ工場にコ・ジェネレーションシステム（注）を導入しており、下関工場には2004年8月に導入しました。このシステムは、7260kW/hの電力と蒸気を工場に供給し、熱効率を良くしてCO<sub>2</sub>の排出量を減らすことで、地球温暖化防止に貢献しています。ブリヂストンは、環境保全を企業経営の重要課題の1つと位置付け、環境に配慮した工場づくりを行っています。

（注）1つの燃料から電気や熱などの2つ以上の有効なエネルギーを発生させるシステム。ブリヂストンでは、発電時に発生する廃熱を利用して蒸気を発生させて、エネルギーを効率的に利用しています。



下関工場 コ・ジェネレーションシステム

## 地域社会の一員として

下関工場では、市民の皆様が親しめる森づくりの推進を図る、「エコピアの森 下関」の活動に2010年から取り組んでいます。下関市と山口県西部森林組合と協力し、森林整備のボランティア活動及び森林教室等を開催しています。また、地域に開かれた工場を目指して、工場構内の体育館を開放するほか、毎年開催する秋祭りでは工場見学会も実施しています。ほかにも海岸の清掃や、「ブリヂストン吹奏楽団久留米」によるチャリティーコンサートの開催とその収益金の寄付などを通して、地域との積極的な交流を図っています。



エコピアの森 下関



秋祭り



海岸清掃

## 空気圧点検

ご存知でしたか、タイヤの空気圧は自然に低下します（1ヶ月で約10～20kPa）。走る前に冷えている状態で定期的（月1回）に点検してください。適正空気圧は車種によって異なります。運転席側のドア附近に貼付された、空気圧表示シールで確認してください。

エアゲージを  
お持ちでない方は・・・



マークのある販売店では、タイヤの安全点検を実施しております。お気軽にお立ち寄りください。



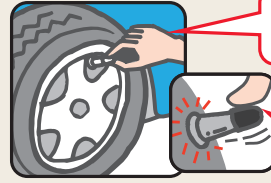
タイヤが冷えているのを  
確認してから  
走行直後はタイヤ、ホイール  
が熱くなっている場合があり  
ますのでご注意ください。



**エアゲージ**  
ホイールにあるバルブの  
口にセットして空気圧の  
過不足を測ります。



**石鹸水**  
石鹸水をつかって、バルブ  
からの空気の流れが  
ないか確認します。



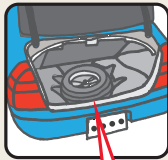
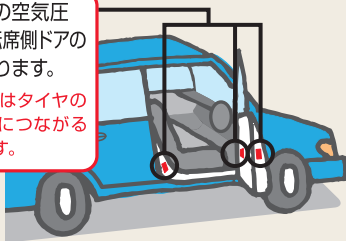
**バルブキャップ**  
点検後は、バルブのキャップを  
忘れがちです。しっかり締め直  
しましょう。

バルブキャップは  
しっかりと締めよう。

バルブの根元も痛んでいないか  
空気もれがないかチェック！

●空気圧不足の時は、お近くの  
タイヤショップかガソリンスタ  
ンドなどで充填してください。

メーカー指定の空気圧  
表示シールは運転席側ドアの  
この辺りにあります。  
空気圧の過不足はタイヤの  
性能低下や事故につながる  
おそれがあります。



スペアタイヤの  
点検も忘れずに！

## チッ素ガスのお勧め

タイヤの空気圧は時間とともに少しずつ低下します。  
チッ素は空気に比べこの“自然低下”を抑えることができます。

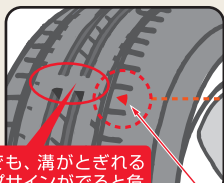
### チッ素ガス充填のメリット

- ① 空気圧に比べ、内圧の低下が少ないため、管理がしやすい。
- ② 内圧の低下を抑えることにより、操縦安定性の維持向上、  
偏摩耗の抑制、燃費の維持に貢献する。



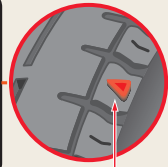
## タイヤの外観チェック

これが摩耗の危険サインです！



1ヶ所でも、溝がとぎれる  
スリップサインがでると危  
険です

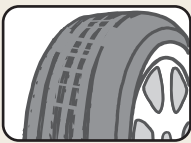
拡大図



これがスリップサイン  
表示マークです

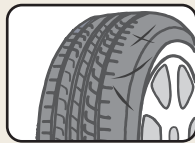
残り溝が1.6ミリになる目安として  
スリップサインを設けています。  
スリップサインが1ヶ所でも出る  
と使用することを法律で規制され  
ています。

## タイヤチェック、3つのポイント



### ① ミズ

すり減ったタイヤの雨の日は、制  
動距離が伸びて危険。ハイドロ  
プレーニング現象も起こります。



### ② キズ

小さなキズが大きなバースト  
を起こす可能性があります。



### ③ ヒビ

古く劣化してヒビ割れがで  
ていないかをチェック。

タイヤの空気圧が適正值より  
**50kPa(0.5kg/cm<sup>2</sup>)不足した場合、  
市街地で2%程度、郊外で4%程度  
それぞれ燃費が悪化します。**※1

燃費悪化率2%（市街地）、月に1,000km走るとして  
燃費＝10km/ℓ、ガソリン代＝146円/ℓ ※2 で

**なんと ガソリン代 約3,500円/年の損失** ※3

**更に CO<sub>2</sub>排出量も増加します。**

出典 / ※1: (社)日本自動車工業会

※2: 石油情報センター2007年8月平均レギュラーガソリン単価

※3: (社)日本自動車工業会のデータに基づきブリヂストンにて試算

当社に関する情報は、下記ホームページでもご覧いただけます。

<https://www.bridgestone.co.jp>

## 株式会社ブリヂストン

下関工場

山口県下関市長府港町3-1 〒752-0953

電話 (083) 245-1251



下関工場 / 山陽新幹線 新下関駅下車 タクシー約20分  
山陽本線 長府駅下車 徒歩約10分